



プロジェクト名称 【参加人数: 名】

TDW 2012学校作品展出展プロジェクト

活動概要・目的 【活動期間: 2012年6月1日 ~ 2013年 月 日】

『TOKYO DESIGNERS WEEK(略称:TDW)』とは、毎年秋に開催され、10万人規模の来場者を集める国内最大のデザインイベントである。本プロジェクトは、このイベントの学校作品展に参加し、学生のデザインしたプロダクト作品の展示、ワークショップの開催を行うものである。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
6/1	メンバー募集 & 作品プレゼン	芝浦キャンパス408演習室	参加表明としてのアイデアプレゼン大会を行い、その内容を基に出場作品を選定
6/4	墨田区工場訪問	墨田区各所	作品制作に協力してくれる工場を探すため、すみだ中小企業センターの紹介で、墨田区各所の工場5社を訪問
6/17	学生プロジェクト選考会	豊洲校舎	審査員の先生方に向けて活動計画をプレゼン
6/23	ワークショップ会議	芝浦キャンパス408演習室	TDWで行うワークショップの内容について会議
6/30	作品会議	芝浦キャンパス408演習室	作品制作の進捗状況についての報告会
7/6	墨田区工場訪問	墨田区各所	墨田区の工場について新しく2社を訪問
7/10	ワークショップ ロールプレイング	芝浦キャンパス408演習室	ワークショップの内容を実践して検討
8/7	作品会議	芝浦キャンパス307教室	作品制作の進捗状況についての報告会
8/8	再募集プレゼン	芝浦キャンパス307教室	欠員が出たのでメンバー・作品の再募集
8/28	作品会議	芝浦キャンパス307教室	作品制作の進捗状況についての報告会



年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
9/7	作品会議	芝浦キャンパス307教室	作品制作の進捗状況についての報告会
9/22	TDW出展者説明会参加	DA事務所 (青山)	主催者であるデザインアソシエーションの開いた出展者向けの説明会へ参加
9/7	全体会議	芝浦キャンパス307教室	作品制作、ワークショップ、ブース計画の進捗状況についての報告会
10/6	ワークショップ会議	芝浦キャンパス408演習室	ワークショップの企画と材料調達について会議
10/15	全体会議	芝浦キャンパス408演習室	作品制作、ワークショップ、ブース計画の進捗状況についての報告会
10/18	ワークショップ会議	芝浦キャンパス408演習室	ワークショップの企画と材料調達について会議
10/26	ワークショップ準備	芝浦キャンパス408演習室	ワークショップで用いる道具の製作
10/27	全体会議	芝浦キャンパス408演習室	開催前の最終確認会議
10/29	作品搬入	神宮外苑	会場へ作品搬入、設営
10/30 ~11/5	TDW開催	神宮外苑	TDWへ作品展示 毎日会場で見張りの説明
10/30	ワークショップ会議	芝浦キャンパス408演習室	ワークショップの最終確認
11/1	「TOKYO DESIGNERS WEEK.tv」インタビュー	神宮外苑	出展作品についてTV取材を受ける
11/2	ワークショップ	神宮外苑	ワークショップの開催
11/5	作品搬出	神宮外苑	作品の搬出
2/28	経費まとめ	芝浦キャンパス405演習室	使用した経費の清算
3/11 ~3/16	卒業研究展へ出展	芝浦キャンパス1階ホール	デザイン工学科プロダクトデザイン領域の卒業研究展で作品の合同展示



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

1. デザイン能力の向上
2. 他校の学生やプロのデザイナーとの人脈形成
3. 芝浦工業大学のデザインに対する認知度の向上

を当初の目標として掲げていた。

1については、授業ではあまり作られない実働モデルを制作したため、

詳細な設計や工場とのやり取りなど、本格的なデザインプロセスを経験することが出来た。

2については、会場にいる多くの人たちと積極的にコミュニケーションし人脈を広げた。

3については、作品賞候補が1作品出たため、プレゼン権を獲得し大人数に向けてアピールできた。

また、一部の学校しか放映されないTVインタビューも、二作品について放映された。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

作品賞ノミネート(作品名: (e))、

「TOKYO DESIGNERS WEEK.tv」にてインタビュー(BS日テレ、1/14放送)

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

制作は失敗の連続だったし、

グループワークに起こりがちなメンバー間の衝突もたくさん経験したし、

辛いことも多かったプロジェクトでしたが、

最終的にはメンバー一丸となって良い展示を作り上げることが出来ました。

今年は天候に恵まれたこともあり、TDW全体で過去最高の来場者数を記録しました。

私たちのブースにも多くのお客さんが訪れて、

お褒めの言葉や、厳しい指摘など、

自分たちの作品へのたくさんの反応を、直接いただくことが出来ました。

今後に生きる経験が出来たと思います。

目標だった作品賞の受賞は叶いませんでしたが、

1作品ノミネートするなど、

作品の出来は決して悪くなかったと思います。

作品の質を上げつつ、見せ方にも工夫を凝らす努力をしていきたいと思っています。

今後も学生プロジェクトという枠組みを利用するかどうかはわかりませんが、

このような活動は後輩へと繋いでいきたいと思っています。

プロジェクト活動写真





プロジェクト活動写真

会場で配布したフライヤー(表)



01

TIME PLAYER

秋山福生



05

Found

大沢拓也



02

D-planet

志村寛久



06

Stack tap

酒井信毅 古畑義矢



03

(e)

瀬下築 長瀬高弥



07

Mai

坂本カンナ 菅原利晃
濱田郷子 山田直輝



04

Magic Period

奥源大 竹内悠人



08

amnioid

高橋遼 田中圭太

プロジェクト活動写真

会場で配布したフライヤー(裏)



TOKYO DESIGNERS WEEK 2012

Shibaura
Institute of Technology

Workshop
おうちにすむどうぶつをつくろう

11/2(FRI) 11:30~13:00

ボタン電池、振動モータ、LED、スイッチなどの電子部品と、家庭にある身近な材料とを組み合わせ、オリジナルのちいさなどうぶつを作るワークショップ。電気の流れや、各部品の動作など、電子工作の基礎を学びながら、ものづくりの楽しみを体感できます。

家庭にある身近な材料を利用して制作するので、おうちに帰った後でも、また自分たちで作ることができます。

(定員20名)